



ありがとうございました

▶黄色いワッペン (株)みずほ銀行、(株)損害保険ジャパン日本興亜、明治安田生命保険相互会社、(株)第一生命保険から黄色いワッペンが新入学児童数分寄贈されました。これは、新入学児童の交通安全を願って昭和40年にスタートし、今年で55年目を迎える事業です。ワッペンには、令和2年3月まで有効の交通事故傷害保険が付けられています。▶交通安全啓発下敷き (公財)千葉県交通安全協会連合会 ▶ランドセルカバー 八千代交通安全協会 ▶防犯笛 (株)日本マクドナルド ▶サイクリフレクター コスモス交通安全協力会、(株)千葉興業銀行

温かみのある「和紙でつくる兜飾り」文化伝承館の物づくり講座

4月20日、八千代の伝承文化を習おう「物作り編①兜飾り」が文化伝承館で開催され、和紙を織った兜をつなげて、リースを作りました。作り方は日本の伝承文化を伝える「ゆいの会」がサポートしてくれるので、普段やらない人でも安心。リースの額の中には、小さな緋鯉・真鯉を泳がせています。菖蒲の花を添えた完成品は、和紙特有の温かみがあり、手作りをいっそう感じさせてくれます。



親子で協力して上手にできました

自然がつくった風景・人がつくった風景 自然や歴史を学ぶ景観ウォーク

八千代で見られる景色を歩いて回る「景観ウォーク～米本・ほたるの里の自然を巡る～」が、4月13日に開催されました。参加した7人は、農業交流センターから歩き始め、地域の自然や歴史を学びながら、ほたるの里を通過して長福寺へ向かいました。昔は生活の糧だった里山も、電気やガスの普及とともに、団地へと姿を変えていきました。印旛沼へ流れる新川は、かつて利根川からの逆流で洪水を起こしていて「逆水」という地名が残っています。現在は大和田機場が、印旛沼から機場へ流れを変えて洪水を防いでいます。見晴らしの良い御嶽神社からの景色には「崖沿いには湧き水があり、集落でその水を種もみの発芽や食べ物を冷やすために使っていました」という説明も。今は当たり前にある水も、昔は貴重な暮らしの支えでした。古くからある湧き水の乳清水には、この水で作



御嶽神社から広がる原風景を望む

ったおかゆを食べると、乳が良く出るようになり、赤ん坊のいる家でありがたがられていたという言い伝えがあります。何気ない景色に詰まった知恵と工夫と物語に、参加者も「普段とは一味違った散歩。いい勉強になりました」と。6月5日(水)には、環境政策室で「萱田地区・村上地区を巡る里山歩き」を計画しています。

市民伝言板

- ソフトテニス教室 (一般) 市内在住か在勤の高校生以上対象。先着10人。5月25日(土)13時～17時 (以降毎月1回、土曜日に実施)、村上第1公園テニスコート。300円。申し込みは、八千代市ソフトテニス連盟・永井☎484-6981へ
■クラシックギターとカステジャーノをたのしむ会 クラシックギターとスペイン語の朗読によるコンサート。「プラテロと私」「シャコンヌ」など。5月26日(日)13時30分～16時30分、勝田台文化センター。同会・町井☎483-7404
★おやこで八千代の自然探検 自然の残る市北部で花や生き物を探します。交流タイムあり。親子対象。先着10組。ボランティアも募集。5月29日(水)10時～12時30分、少年自然の家集合。雨天中止。100円。八千代自然と環境を考える会・藤原☎080-3781-3322
★地球温暖化の今と自然エネルギーの取り組み 気候ネットワーク理事平田仁子氏の講演とワークショップ、市内の取組みの紹介。6月1日(土)14時～16時30分、市民会館。200円。やちよ自然エネルギー市民協議会・佐藤☎080-5878-3225

- 23周年のつどい「聞かせて！あなたの戦中戦後」 戦中戦後を生きた6人の話し手による講演と発表を通し、その時代のありようを学び合います。申し込み不要。6月1日(土)13時～16時、男女共同参画センター。女性の日記から学ぶ会・片岡☎090-6038-6743
■アーチェリー体験教室・全4回 道具はアーチェリー協会が用意します。小学4年生～65歳の初心者対象。先着10人。6月1日・15日・29日、7月6日いずれも土曜日11時～12時30分、市民体育館。1,000円(4回分)、高校生以下500円。申し込みは、19時以降に同会・田中☎482-6453へ
■八千代市シニアダブルスピンポン大会 ミックスダブルス、男子ダブルス、女子ダブルスの各A～Cランク。八千代市卓球連盟に加入している市内在住の満60歳以上対象。7月5日(金)ミックスダブルスは9時から、男子ダブルスと女子ダブルスは12時から受け付け。市民体育館。1種目500円、2種目1,000円。申し込みは、6月5日(水)までに同連盟HPか、はがきで〒276-0042八千代市ゆりのき台7-17-1 徳永☎484-3051へ郵送
★は、市民活動団体支援金交付制度対象事業です

一人の活動が大きな力に 新川一斉清掃で約300kgのごみ



親子で清掃。あいさつもすれ違う人は

4月6日、印旛沼周辺の水質を守るための新川一斉清掃が行われました。参加者全員で集めたごみは約300kgになりました。「自分の街をきれいにするのは当然」という精神は、6月2日(日)に行われるゴミゼロ運動の始まりでもあります。高度成長期、観光地にごみを捨てていく現実を放っておけないと、ある山岳会の会長が「自分のごみは自分で持ち帰る」を合言葉に、清掃活動をするよう呼びかけていったそうです。一人の活動が大きな力になり、今では全国的な運動となっています。

八千代歌壇

佐波 洋子選

禁煙を誓いし夫の抽斗にピストルのごとライターありぬ (八千代台東) 藤井 京子
琉球のあさがおの太き枯れ蔓を断ちて疼けり夜の手の平 (八千代台南) 桑原 慎子
消息はいつしか絶えて故里の友の住所の消し難き暮 (吉) 橋 宮谷あや子
ぼんやりと雪降り続く夜明け前バイクの音は近づき去れり (大和田) 井上 正則
わが内の鬼いとほし福豆を口に投げ込む香りも音も (八千代台西) 藤野 宏子
黙しつと並び歩める道の辺に咲く連翹の花の不確か (八千代台西) 吉田 早苗
豚コレラの蔓延ふせぐ獣医生病まぬも殺す生かすを学ぶに (八千代台西) 元村 泰介
水温む小川に魚の行き交いて一年生の背にランドセル (大和田新田) 諏訪 俊一
千葉に住みりの吹雪が夢に出て一寸先きが見えず目が覚む (大和田) 坂井 ワカ
介護二の妻の入所日近づきて別れの夕餉言葉少な (八千代台西) 城山 求
選評 一 首目、引き出しを開けたら、隠すようにあったラ イターにギクリとした。まるでドラマの場面のピスト ルに見えたのだ。抵抗する夫の心理にも見え、発見の面白さがある。二 首目、琉球朝顔の太く枯れても猛々しい蔓の様子 がリ アルに表現された。三 首目、共感を誘う。「一」は「絶ゆるも」と逆説に、又は「いつか絶えたる友」等と繋げてよい。

やちよ川柳

八千代川柳連盟選

物忘れ手柄のごとく話す人 大和田新田 市東 国昭
新時代新人類が大手振り 島田 台 斎藤 洋子
煮ころがし好きでよかつたおムコさん 吉 橋 今別府文乃
縁結び神に感謝の当たり前 八千代台北 新木さち子
殻を割り自分を晒し楽になる 村上団地 増川みずえ
花筏おしどり乗せて川下り 大和田新田 羽祢田 廣
カラフルなフルーツが呼ぶ菓子作り 大和田 塔ヶ崎咲智子
悔いなしと歌の文句に異議があり 八千代台東 篠崎 文男
円満へ秘訣の一つ軽い嘘 八千代台北 辻内 京子
庭手入れあした明日と一カ月 勝田台 植田 絵里
傷跡が運命線を太くする村 上 菊田差知子